

校長室だより No 21

4年生が地域に貢献しました

2023年 3月2日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

今年の土小学校は、全学年で土地域を教材とした、土地域と一体となった学習を屋台骨として教育活動を実施してきました。その様子は、秋の参観週間や先日の参観日・土サミット・教育ミニ集会等で様子を公開してきました。

土小学校で目指す姿の一つに、「学んだことを実生活や実社会で活かす力」があります。学校での学びは入試問題を解くためではなく、実際に社会をよりよく、住みやすい社会にするために使っていくことが大切です。今年度実施した各学年の土地域を教材とした学習は、課題を見つけ、よりよくするにはどうすればよいかを考え、その考えを地域に伝えていく、という形で展開されています。

4年生では、地域の安全をテーマにして、今年は通学路の安全について調べ、課題を見つけ、解決策を考え、課題解決に向けて行動していく、という「Save MyLife Goal's」と名付けた活動を行ってきました。土小の通学路は6コースあります。その全てのコースを全員が歩き、危険箇所や修理等が必要な箇所などの課題を見つけました。9月の暑い日にエンジョイパトロールの方や保護者の皆様に付き添いをお願いして行いました。その後、気づいた危険箇所を全員で整理して、安全にするためにはどうすればよいかをエンジョイパトロールの方も加わって、色々と考えてきました。

その結果、低学年に注意してもらおうと、下校時間に見守り活動を行ったり、ポスター等を作成したりして、注意喚起を行いました。さらに、12月には、警察・市役所・町会の方に対して危険についての説明をし、現場を実際に案内して、表示をして欲しい、横断歩道を書き直して欲しい、カーブミラーを設置して欲しいと要望をしてきました。その結果、2月28日には通学路の6か所に注意を促す道路標示がなされ、学校前のグリーン路側帯が引き直されました。（HP参照のこと）自分たちの呼びかけが地域に貢献できたかもしれないと、子供たちは感じています。市役所を子どもたちが動かしたことになります。3月には全町会の回覧板で4年生作成のポスターも回覧されます。皆さんの行動の変化につながればと思っています。

日本財団の18歳意識調査（2019年）で、日本の若者は、自国の将来に夢を持たず、自分の力で社会を変えられると思う・社会に解決したい課題があるといった社会貢献に向けた意識は、調査国中最下位で、数値も大変低いという悲しい実態です。今回の経験が、大人になってからの行動に影響を与えたいと思います。未来に逞しく生き抜く子供たちの力を育てたいと思っています。